

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2091	
日 時 2025 年 08 月 08 日 (金) 霧～晴	
山 域 後立山・唐松岳 (2696m)	
コース 黒菱平駐車場 5:00-八方池山荘 6:00-八方ケルン 7:08-稜線 10:03-山頂 10:29~33-唐松山荘 10:52~11:08-扇の雪渓 12/32-八方池 13:35-黒菱駐車場 14:56	
標高差 登山口約 1500m～唐松岳 2696m＝約 1196m＋40m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 <b>レ普通</b> やや易しい 易しい	
<b>やっぱり八方の花は素晴らしい</b>	
参加者 後藤、峰田、斎藤、伊藤＝4 名	

### 黒菱平駐車場から歩く

黒菱平駐車場へクネクネ道に行く。昨夕は好天だったが、今朝は小雨で寒い。道路脇は牧場だが、早朝でウシはいなかった。(下山時は数十頭居た)

平日で駐車場の車は少ない。リフト運行は 7:30。運行を待つのは野暮で舗装された立派な道を黒菱リフト分の標高差約 200mを上る。

ただ、入り口に「歩行禁止」の看板があった。理由は書いてなかった。「歩行禁止」なら理由が欲しかった。(ネットも理由なく単に歩行禁止)



黒菱平上

急坂を 30 分で上り八方池山荘に向かう。東の空は雲が切れていたが、西はガスで山は見えなかった。今回、山荘の「ヤナギラン」は良くなかった。

八方ケルンまでトラバース道に行く。花は日光がなく低温でイマイチ。ケルンで何組か休憩し談笑。今朝 2 時に来た千葉の夫婦がいた。「日帰り」と聞いたら、下山後、「松本泊」といった。この方とは山頂まで前後した。男性 2 名の 1 名は、大袋の「かきの種」を頬張っていた。「食べますか？」と聞かれたが、「beer がないと・・・」と断った。風が冷たく、上下ヤッケで丁度良かった。



八方池

八方池を右に俯瞰し上る。山はガスで依然見えない。八方尾根初見の方が2名で晴天を期待したが・・・。

八方ケルン下に達した。ここで何回か来ているIさんが、「ブラブラ行くので、先に行つて下さい」を宣言。ベテランで経験もあるので、それに従った。ケルンから稜線まで長かった。

稜線に達した。風が強く寒い。手袋がないと手が痺れる。40m程下つて本峰に取り付く。上から小屋泊の方がゾロゾロ下つて来る。「上り優先」もあったものではない。山頂で若い娘に写真を頼んだ。キレイな顔で「つけまつげ」が長かった。

コルに下り小屋に向かった。一瞬、ガスが上がり山稜が見えたが、すぐ隠れてしまった。コマクサが沢山咲いていた。トウヤクリンドウもあった。ベンチに座り、キュウリとパンを頬張った。

下山は登山者が多く、まともに下れなかった。太陽が覗き花は登山時より良かった。正直なものである。八方池山荘からリフトで下る。片道1250-だった。黒菱リフトは居眠りが出そうな速度だった。買い出しは白馬駅近くのコープが良かった。

